

サービス改善計画書

策定日：令和 6 年 4 月 16 日

事業・サービス名： 居宅介護・行動援護・重度訪問介護

施設・事業所名： 特定非営利活動法人 友と遊

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
1 (4) ①1・3	A	ご本人の希望をご家族が把握・実施をされていない様子がみえる。	ご本人の希望が伝わる様、ご家族との架け橋となる努力をする。 (ご家族が出来ない所を調整、対応する)	継続	井上元子	次回利用の持ち物等の連絡が必要である。実施報告書での連絡やメール・電話にて確認要。また、連絡がとれても対応していただけないことがあるので丁寧にならざるを得ない。何度でも伝えていく必要がある。
1 (4) ①2・4	A	個々のニーズに合わせて実施をする様つとめる。	利用者の成長に伴い、本人にとって何が楽しく、安定するの考へていく。自立に向け、清潔保持の方法を本人と家族に伝える。月一ミーティングにて話し合い。	継続	井上元子	入浴の仕方や汚れ・穴空きがあり、サイズに合っていない服や靴等を身に付けておられる方へのアドバイス等
1 (7) ②1・2	A	衛生管理・感染症予防・対策	滋賀県・大津市から届くメールの衛生管理・感染症予防等を貼り出し全職員に周知している。。また、ミーティングにて研修。	継続	井上元子	マスク・消毒液・使い捨て手袋等の消耗品・備品等
1 (7) ②2	A	衛生管理・感染症予防・対策	除菌・掃除の仕方を指導し、表を作りチェック。直ぐに対応出来る様、清掃キットを用意している。ミーティング等で全職員に周知徹底している。各ヘルパーへ消毒液と手袋を携帯するよう渡している。	継続	井上元子	
3 (3) ① 1・2・3・4・5	A	利用者の成長や変化により、個別支援計画書の見直しをする。	担当者会議に参加。モニタリング以外でも様子の変化にともない、ご家族や相談員と話し合いながら都度見直し、作成する。	継続	井上元子	
3 (4) ① 1・2・3・5	A	重身・てんかん発作の対応と体調確認	重身、てんかん発作等の体調確認が常に必要な方への配慮。体調不良時の検温、その後の対応方法をご家族に確認。緊急搬送の病院をモニタリング時に確認している。	継続	井上元子	